



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2019/12/13

研究課題名	透析患者における $\alpha$ 1- microglobulin (ミクログロブリン) 除去率が生存・合併症予後に与える影響の検討
研究の対象	2020年1月~2022年3月に当院で血液透析導入して半年以上経過した、安定した外来通院中の血液透析患者さん
研究目的・方法	血液透析の進歩により尿素窒素やカリウムなどの分子量の小さい物質の他に分子量の大きな物質も除去できる事が明らかとなってきました。しかしながら、透析量増加は体に有益な物質も除去してしまうため、沢山除去する事が必ずしも良いとは言えません。この研究では透析量や透析方法(血液透析やオンラインHDFなど)を変えることにより、分子量の比較的大きな $\alpha$ 1- microglobulin (ミクログロブリン) を指標として、この分子をどの程度除去する事が、生命予後や心血管病発症により影響を与えるかに関して調べる事を目的としています。 研究期間：許可日~2022年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	日常診療で行われている透析条件、検査値のデータに加え、残余血清(採血後の余った血清)を用いて、通常透析では除去が困難とされている $\alpha$ 1-ミクログロブリンを測定します。
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<u>研究の実施体制</u> 多施設共同研究、日本 HDF 研究会、日本 HPM 研究会、日本 I-HDF 研究会の研究参加施設 <u>研究事務局</u> 大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学講座 病院教授・武本佳昭
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。  照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究責任者： 腎臓内科主任部長・塚本達雄 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867  研究代表者： 武本佳昭・病院教授 大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学講座 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7 電話：06-6645-2121